

ドイツ デジタルガバナメント戦略 12月

VE センター

1. 背景

・基本データ([JETROデータ](#))

国土: 35.7 万平方キロメートル(日本の約 94%)

人口: 約 8,315 万人(2019 年 9 月, 独連邦統計庁)

政治体制: 連邦共和制(16 州)

一人当たりの名目GDP: 47,803 米ドル(2018 年, IMF)

GDP(名目): 4 兆米ドル(2018 年, IMF)

失業率(%) (INEGI): 3.4%(2018 年 IMF)

・[国連の世界幸福度ランキング 2020](#): 17 位

・[早稲田大学世界電子政府進捗度ランキング: 2019\(20 位\)](#)

・[OECD Open Government Data 2019](#): 27 位

・[Global Competitiveness Index 4.0 \(World Economic Forum\)](#) 2018 (3 位)

: ウイルス死亡数

ドイツ ウイルス死亡数 2020.11.11(現在): 100 万人当たり(137 人): 世界で 12 位

[COVID-19 Dashboard by the Center for Systems Science and Engineering \(CSSE\) at Johns Hopkins University](#) (2020.11.11)

[ドイツ、劇場や映画館を閉鎖へ「部分的ロックダウン」](#) 2020 年 10 月 29 日 8 時 06 分

1) 戦略 1: デジタル体制づくり 2019-2025

Digital Strategy 2025



図 1 DX 戦略ビジョン

[DX\(デジタルトランスフォーメーション\)](#) はルールを変えようとしている。それは、ビジネスや社会、労働環境、消費、協力、コミュニケーションに大きな変化をもたらしている。そして、DX においては、これまでのどのような変革よりも、最速の者が勝利を収めることができる。新しい市場を早期に開拓し、新しい基準を迅速に設定した者が成功を収めることになる。[ドイツ連邦経済エネルギー省\(BMWi\)](#) の [DE.DIGITAL](#) は [DX](#) を政治的・経済的行動の優先度の高い分野と捉え、以下の 10 の緊急行動計画(未来へ 10 のステップ)として実行する。

1. 2025 年までにドイツの [ギガビット光ファイバーネットワーク](#) を構築する
(gigabit optical fibre network)
2. [New Start-up Era](#) を立ち上げる。スタートアップ企業を支援し、若手企業と既存企業の連携を促す (new startup era)
3. より多くの投資とイノベーションのための規制の枠組みづくりを創る
(innovations)
4. 経済の主要な商業インフラ分野における「[スマートネットワーク](#)」を促進する
(smart networks)
5. データセキュリティの強化と [情報の自律性 \(informational autonomy\)](#) を開発する
(data security)
6. 中小企業、熟練した工芸品部門、サービスのための新しいビジネスモデル [SMEs 4.0](#) を使えるようにする
(new business models)
7. 生産拠点としてのドイツの近代化のための [インダストリー4.0](#) の活用する
(industry 4.0)
8. [中小企業中央革新計画 \(ZIM\)](#) を実現する
(digitalisation campaign for SME)
9. デジタル教育を生活のあらゆる局面に導入 [Work 4.0](#) する
(digital education)
10. 近代的な [センターオブエクセレンス](#) としての [デジタル庁 \(Digital Agency\)](#) を創設する
デジタル庁は
 - 1) [コンピテンシー](#) を結集し、
 - 2) [政治的なデジタルアジェンダ](#) をサポートし、
 - 3) [DX](#) の能力を持続的に構築する。
(digital agency)

2) 戦略 2 [デジタルガバナメント](#) 体制づくりの評価

(1) (OECD) の評価: 2019

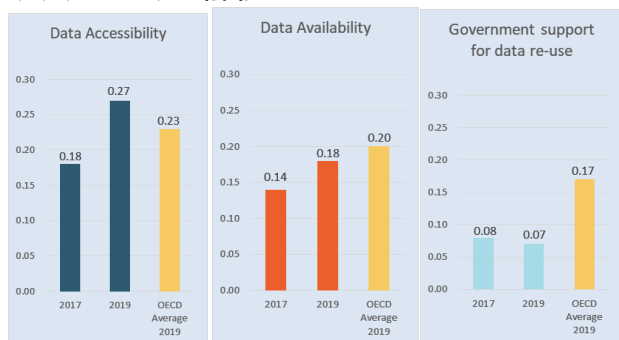


図 2 [OURdata Index 2019](#) のデータは、[2018 年 OECD OGD 調査が 32 力国から収集したもの](#)ある。
[OGD](#)

[オープンデータ法](#)の結果、ドイツでは、[GovData.de](#) でのすべてのオープンデータの提供など、データの利用可能性を支援するより正式な要件を備えた、オープンデータに関する政策の枠組みを構築している。しかし、ドイツは依然として OECD 平均を下回っており、利害関係者を関与させてオープンデータ政策に情報を提供しようとする試みがほとんど行われていないことが原因である。

1. Data Accessibility 0.27 上 0.23 (OECD 平均)
2. Data Availability 0.18 下 0.20 (OECD 平均)

3.データ再利用の政府支援度 0.07 下 0.17(OECD 平均)

オープンデータ法に記載されているアクセス可能なオープンデータの提供に関する正式な法的要件の要件の結果、ドイツは 2017 年以降、他の OECD 諸国と比較して、データアクセシビリティの改善が顕著に見られる。

(2)(EC)の評価 2019

[Digital Government Factsheet 2019 germany](#)

EC 加盟国 27 カ国の Digital Government の進捗状況を 4 つの指標で Factsheet にまとめた報告書。ドイツの評価結果を以下に示す。

1.オンライン利用者中心性 87:EU平均 82 より上

2.オンライン透明性 61:EU平均 57 より上

3.オンライン国境移動性

1)市民 37:EU平均 48 より下

2)企業 68:EU平均 61 より上

4.指標のオンライン技術的前提条件策定

指標は EC でトップレベルにある。

3)戦略 3:オープンデータの活用 (Open Government Partnership:OGP) 2019-2021

2016 年 12 月以降、ドイツは[オープンガバメント・パートナーシップ\(OGP\)](#)に参加しており、これまでに 79 カ国が参加し、オープンガバメントと近代的な行政を推進している。

「開かれた政府」とは、透明性(手続きや決定、情報へのアクセスなど)、市民参加(市民の対話、協議など)、協力(政府と非政府組織の間、様々な省庁や行政レベルでの協力など)に基づいた政府の行動)と定義している。

ドイツの第 2 次行動計画(Action Plan)

[Second National Action Plan 2019-2021](#)

1.16 の[地域オープンガバメントラボ](#)を創設する

2.外交政策をめぐって市民社会と対話を促進する

3.連邦政府の[共同青年戦略](#)への青年の参加を促進する

4.連邦政府の[デジタル・イノベーション・チーム](#)としての[電子政府機関](#)を設立する

5.オンライン開発協力への透明性と参加を促進する

6.[オープンデータ環境](#)のさらなる整備と推進する

7.[2025 年ハイテク戦略](#)の枠組みの中で、研究・イノベーション政策をさらに発展させるための参加型プロセスの促進する

8.参加とテストによるより良い規制の強化を促進する

9.[Smarte LandRegion](#): スマートな農村地域のパイロットプロジェクトを実施する

10. [連邦州\(Länders\)](#)が第2次行動計画から参加する。

4)戦略 4:データのAI利用 2020-2025

[ドイツのAI戦略](#)

ビジョン(AI made in Germany)

AI 分野の急速な進歩に対応した政策的な対応を担うとともに、技術に端を発したイノベーションを総合的に社会全体の利益のために活用していくとしている。

・ドイツとヨーロッパを AI の中心地にして、将来的にドイツの競争力を守る。

・社会のためになる AI を責任を持って開発・活用する。

- ・社会における AI を倫理的、法的、文化的、制度的に統合し、幅広い社会的対話と積極的な政治的施策の中で、社会の中での AI を統合する。

戦略目的

(戦略目標省略)

- 1.ドイツと欧州の AI 研究の強化とイノベーションの推進
- 2.イノベーション・コンペティション実施と欧州のイノベーション・クラスター構築
- 3.AI を事業へ統合(中小企業も対象)
- 4.AI 新事業の創業を促進
- 5.労働市場の変化に対応
- 6.職業訓練の強化と熟練労働者の誘致

7.行政における AI の活用

(戦略目標)

- ・公共部門のサービスの効率性、質、安全性を向上させるために、公共部門での AI 活用に主導的な役割を果たす
- ・さらなる自由な利用を目的としたオープンガバメントデータの提供を拡大する

8.データの利用可能化と利用促進

(戦略目標)

- ・データ・データ分析のインフラの需要と、官民一体となって取り組む必要性を評価する
- ・欧州委員会と緊密に協力して、欧州データ空間の構築に取り組む
- ・インセンティブを設定し、データ保護ルールに沿った形で、自主的にデータを共有しやすい環境を作る
- ・企業と研究機関とのデータパートナーシップの構築を支援する
- ・研究者にインセンティブを与え、研究者が集中的にデータにアクセスしやすいインフラを構築し、中央に集められたデータを処理する環境を整える
- ・研究者が中央に収集されたデータに容易にアクセス出来、離れた場所から処理できるようなインフラを提供する
- ・競争法に適合した方法で「データパートナーシップ」を構築する基準を開発する
- ・政府が出資する研究プロジェクトによって生成されたデータセットを、データ保護の利益を確保しつつ、第三者が利用できるようにすることが可能か検討する
- ・地球観測データのアクセス性を向上させ、AI を用いた解析・評価を可能にする高性能なインフラを提供する
- ・データ保護規則に則ったオープンなトレーニングデータセットに対して、資金を提供を検討する
- ・匿名化、合成データの利用、「スモールデータ」の分野の研究開発に EU レベルでの資金提供を奨励し、国レベルでの資金提供の可能性を検討する
- ・連邦政府レベルの公的機関全体のデータ管理への追加資金の必要性を検討する

(戦略目標省略)

9.規制の枠組みの適応

10.基準の設定

11.国内および国際的なネットワーク構築

12.社会との対話と政策行動の枠組みづくり

5)戦略 5: AIとの共生体制づくり 2020-2025

[5G Initiative for Germany”](#)

5つの分野のアクション、主要なマイルストーンを定義し、5G 研究センターの 5G 研究イニシアチブに 80MEUR(約 100 億円)を投入する。その投入は以下の 5つのステップで行う。

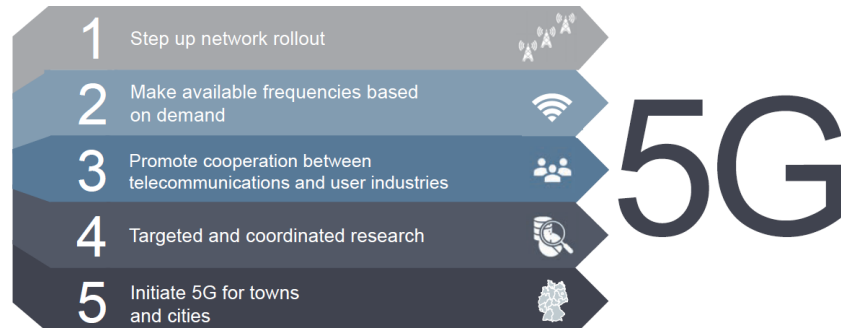


図 1 [5G 戦略](#)

- 1.ネットワーク展開に力を注ぐ
- 2.需要に応じて利用可能な周波数を作る
- 3.電気通信産業とユーザー産業の連携促進
- 4.分野を定めた研究・連携した研究
- 5.町や都市のための 5G を開始